

1.9MHz帯と24GHz帯

de JA1RIZ

① 12月3日山梨県都留市へ移動しましたが、昼間帯での1.9MHzで運用して、9局とQSOできました。

「昼間のローバンドも結構飛ぶ！」ということが実感できた移動でもありました。

【伝搬距離の実績】

笛吹市(約25km)、三鷹市(約63km)、練馬区(約72km)、高崎市(約87km)、宇都宮市(約143km)、喜多方市(約250km)、和歌山市(約370km)、石巻市(約385km)

岡山市(460km)でもワッチして頂きましたが、こちらはカスリもしなかったとのことでした。3.5MHzは何とか交信成立したので、この位の距離になると1.9は厳しいという結果でした。しかしながら昼間でも思っていたより飛ぶというのが印象です。こちらのRIGは、フルサイズDP(最高部6m、最低部2m)/40W)に対し、1エリア各局はLW系、和歌山の局はスローパー(タワー高20m)だったとのことなので相手局がフルサイズ系であればもう少し伸びた可能性はあると思います。その他の特記事項として、特に1.9の場合は周囲ノイズの影響を強く受けます。昼間であってもノイズが低い状態の時は、ある局によっては意外に昼がFBなんて事もあるようです。(都内の局からのレポート)

只、如何せんフルサイズでは広い展張場所を確保せねばならず、移動運用では制約を受けます。それに移動用となるとエレメント線に大きな張力をかけられず、どうしても地表近くに垂れ下がって張り回すような格好になります。少なくとも全体的に短縮形でも良いので、エレメント高7~8m程あげて、且つロータリー方式に出来ればフルサイズの性能に近づくのではないかなア等と夢見ているところです。

この頃は「老人」の運転に対して周囲の目が厳しく、特に夜の移動には更に厳しい厳しい目が光ってきていますので、昼タイムの移動によるローバンド運用もあって良いのでは、と感じています。Hihi

トップバンドについて考えさせられる移動でもありました。

② 24Gの変更申請が通ったのですが、動作テスト出来ずのままでした。リグは揃ったのですが、受信テスト用のマーカー発信機もこの周波数まで使える手持ちがなく受信機が正常なのか？でした。送信の方も出力『10mW』でもあり、もう一台受信できるものでもないテスト不能の状態でした。

それで、12月中旬、あるOT局にお願いして「鳴き合せ」をした訳です。

私の方はパラボラまでは工作できておらずホーンANTでした。さて、双方とも車に積んで10m程離れた位置でテストです。

FMモードでテスト、指定周波数で受からず、サーチすると相手の周波数から+30数kHzで受信できました。この周波数帯では局発周波数のズレがバカにならないですね。続いてSSB、これも20数kHzズレ、CWも同じだがさすがにチャピっている、AMもやってみると同様だがOTはFMより音が綺麗だという。??? 変調特性の違いからか?

この後、OT局のAJAポイントサービスにお付き合い。福生市に始まり、羽村市・青梅市・入間市・所沢市と回って各モードでQSO。

永くマイクロ波をやっているが、埼玉県とは24GHz/CWは初めてのQSOとのことでした。又、交信してもこのバンドではQSLを発行しない局が多い！と嘆いておられました。

OTからはアドバイス、送信出力~ANTは直付け位にしないとロスが大きくなるので改善するのが良い、とのこと。(私は送信端からホーンANTは≒10cmのセミリジッドケーブルで接続しました。)OTのものは送信コネクタ部分がパラボラANTの基部に直結されていました。

この周波数帯にはこれでまた独特のノウハウがあるんですね。

又、OTのお生まれを聞くと、「S5」とのことでした。…なんと89歳！お誕生祝は“卒寿”でいまだ現役なのです。これには感嘆しました!!!

ローバンドと超ハイバンドをいっぺんに味わった月間でした。(^^♪

(完)